

先生の
ICT活用に
自信が生まれる
使ってみたくなる



自治体向け ICT授業デザイン オンライン双方向研修

ICT活用に対する先生方の苦手意識を和らげ、
“新しいことを楽しめる” マインドセットを醸成する
全5回連続講座

自治体のこんな悩みをサポートします

ICT活用に対する、現場の先生方の不安を解消したい
せっかく配備された機器を宝の持ち腐れにせず、授業で活用してほしい
主体的・対話的な学びにICTを活用してほしい

2020年度 研修実績
大阪府堺市教育委員会・宝仙学園・東邦高校ほか

講座の実施モデル・スケジュールと内容

Step1 80分	① オリエンテーション（新しい機器の操作に慣れ、不安を解消する） ② 自治体導入のアプリケーション（Google Jamboard やMicrosoft365 など）を実際に操作して、生徒がひっかかるポイントや操作の難しさに対する気づきを共有する。 ③ アンケート機能などを活用した業務改善アイデア
課題 30分	3人チームでのオンラインミーティング設定
Step2 80分	① ICT 活用時の注意点や活用事例（講義） ② 実際に教室で使用する時のトラブルシューティング ③ 自分の教科・単元での活用アイデア出し
課題 30分	自分の校内で使えるツールと ICT 環境の確認
Step3 80分	① 実践授業計画の中間発表 ② ICT ツール使用時の検証と専門家のリスクに対するフィードバック ③ チームメイトからのブラッシュアップコメント
課題 90分	ICT 実践：自らの授業またはHR で ICT 活用を試してみる
Step4 80分	① 実践授業の発表 ② 他の先生からのフィードバック
Step5 80分	① ICT 活用による学びの振り返り ② 今後の授業への生かし方 ③ 応用的実践や活用方法の紹介など

募集要項

- 募集対象：教員のICT活用を推進する自治体および学校法人
- 受講費用：教員1名につき 16,800円 （ご参加人数により団体割引のご相談に応じます）
- 受講対象者：小・中・高・特別支援学校など全ての教員
- ICTの活用レベル：
 - ・先生個人ではPCやタブレットを業務に使用しているが、実際の授業でICT機器を使ってみたい方
 - ・校内のICT活用を推進されるご担当者
- 内容：80分＊5コマ （ 連続講座＋課題 ）
 - ・1週間に1コマ程度の頻度で実施を想定
 - ・勤務時間内での同時オンライン研修を想定しています。（例：15時30分～16時50分）
 - ・先生方はご自身の学校や職員室から、オンライン講座にご参加いただきます。

【ご参加の要件】

- ・ オンライン会議ツールzoomやmeetを使いPCまたはタブレットで講義に参加できること。
- ・ Google for Education、Slack、Microsoft Teamsなど何らかの情報共有ツールを受講先生が使用できる状態になっていること。（難しい場合は支援員がご相談に応じます）
- ・ 1団体につき20名以上の参加者がいることが望ましいです。1クラス先生40名まで対応可能。
- ・ グループワークを多用します。

【広報サポート】

募集チラシを無償で作成・提供いたします。（過去実績：1市で独自チラシ4000枚配布）